

自律航法について

GPSを使った測位では、約30 m～200 m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機ではジャイロセンサーと加速度センサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

自律航法の表示について

自律航法が動作しているかしていないかを見るには、現在地表示画面左のGPS表示下の“GG”の文字色で確認することができます。

※ GG表示は、自律航法機能が動作しているかないかを文字の色で表しています。



“GG”表示 水色：自律航法が動作している。

“GG”表示 灰色：自律航法が動作していない。

お願い

付属の吸盤スタンドを使用してナビ本体をしっかり固定してください。自律航法の誤差を少なくするため、上下左右の角度は30°以内に調整してください。

別紙 取付説明書 [スタンド用]

お知らせ

- 自律航法は、車動作時のみ正常に動作します。
- 自律航法は、GPS衛星の電波を受信してしばらく走行し、センサー学習をした後に起動します。
- 高架下やトンネルなどでGPS衛星の電波が弱くなった場合にジャイロセンサーや加速度センサーから曲がった方向や走った距離を検出して現在地の表示を行います。
- 自律航法動作時でも、長いトンネルの中や高架下など、走行時の状況により実際の位置と地図に表示される現在地の位置に誤差が生じる場合があります。その場合、自律航法による正確な現在地の測位ができなくなり、現在地(自車)マークが停止することがあります。

道路切り換えボタンの機能について



X道路 ボタン

一般道または有料道を走行中に、本機が実際の走行道路と違う道路を走行していた場合に **X道路** をタッチすると強制的に他の道路へと切り換わります。

※強制的に道路変更できるのは、一般道と有料道が近くにある場合のみです。必ず、ご希望の道路に切り換わるとは限りません。

お知らせ

有料道に切り換えた場合、正しい料金計算ができないため料金表示はされません。